

健康づくりと予防の推進に関する各分野における取り組みについて

分野	主な指標の推移および目標値	25年度の取り組み (二重線印は主となる取組)	25年度の事業の成果と課題 (太線印は課題、二重線印は成果)	26年度の主な取組 (二重線印は重点的な取組)
栄養・食生活	<p>○主食・主菜・副菜を組み合わせた食事をほぼ毎日とっている人の割合(日本型食生活実施率) (基礎調査)</p> <p>【基準値】 47.1%(H24)</p> <p>【最新値】 36.5%(H25)</p> <p>【目標値】 52.0%(H34)</p> <p>○食塩摂取量 (県民調査)</p> <p>【基準値】 男性 11.6g 女性 10.1g (H23)</p> <p>【目標値】 男性・女性ともに 8g (H34)</p>	<p>○父と子の料理教室の実施 (県下20地区で実施)</p> <p>○食育県民講座の開催(11月~2月)</p> <p>○奈良県食育推進ロゴマークの作成</p>	<p>○料理教室や健康教育には、なかなか人が集まらない。</p> <p>○健康的なメニューを提供する店舗(健康なら協力店)の加盟店がなかなか増えない。<u>飲食店店主などに健康づくりの意識付けが必要である。</u></p>	<p>食育推進事業(8,421千円)</p> <p>① <u>なら健康減塩食プロジェクト事業</u> 減塩対策を効果的に進めるため、県オリジナルの減塩メニューや健康調理法の開発、また普及啓発手法の検討を行う。</p> <p>○市町村の食育推進計画策定支援</p> <p>○食育を担う人材育成 (参考資料 1)</p>
喫煙	<p>○成人の喫煙率</p> <p>【基準値】 14.2%(H23) (県民調査)</p> <p>【最新値】 15.0%(H25) (基礎調査)</p> <p>【目標値】 9.9%(H34)</p> <p>○未成年者の喫煙率 (県民調査)</p> <p>【基準値】 中3男子:6.5%, 女子2.3% 高3男子:12.3%, 女子0%(H16)</p> <p>【目標値】 0%(H34)</p> <p>○妊婦の喫煙率 (県調べ)</p> <p>【基準値】 5.7%(H23)</p> <p>【目標値】 0%(H34)</p>	<p>○市町村禁煙支援アドバイザー育成研修会の実施</p> <p>○妊産婦禁煙支援ガイドブックの作成 産科医療機関、市町村へ配布</p> <p>○未成年者禁煙支援相談窓口の設置等</p>	<p>○奈良県インターネット禁煙マラソン(妊産婦コースを新設)(H25.4~) 掲示板書込件数:248件, 相談件数:8件 <u>周知不足のためか、相談件数が少ない</u></p> <p>○未成年者禁煙支援窓口の設置(H25.9~) 医療機関数:全6か所 利用者5名 <u>学校へ支援窓口設置の周知が不十分</u></p> <p>○働き盛り世代の男性及び若い女性への、効果的な働きかけが必要</p>	<p>たばこ対策推進事業(2,500千円)</p> <p>○未成年者禁煙支援相談窓口を継続実施 および事例報告会の実施</p> <p>○妊産婦への禁煙支援研修会の実施</p> <p>① <u>COPD(慢性閉塞性肺疾患)対策モデル事業の実施</u></p> <p>(参考資料 2)</p>
特定健診	<p>○特定健診受診率</p> <p>【基準値】 25.1%(H23 国保)</p> <p>【最新値】 27.3%(H24 国保)</p> <p>【目標値】 60%(H29 国保)</p> <p>○特定保健指導利用率</p> <p>【基準値】 14.2%(H23 国保)</p> <p>【最新値】 14.7%(H24 国保)</p> <p>【目標値】 60%(H29 国保)</p>	<p>○特定保健指導実践者育成研修会</p> <p>○医療機関と連携した受診勧奨への取組</p> <p>○市町村の受診率向上の取組に対し県調整交付金で支援</p>	<p>○特定保健指導実践者育成研修会の開催 市町村、医療機関等から約150名の参加</p> <p>○保健指導の見直しや評価ができていない</p> <p>○市町村と医療機関の合同勉強会開催 約90名の参加</p> <p>○医療機関の待合室設置用啓発雑誌作成</p>	<p>特定健診受診率向上事業(500千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各市町村の特定保健指導等の評価分析を<u>統一的に実施し効果的に活用できるように研修会を実施</u> 受診率向上の取組に対し財政的支援
生活習慣病	<p>○高血圧有病者の割合(市町村国保特定健診受診者50歳代)</p> <p>【基準値】 男性29.6%、女性19.8%(H22)</p> <p>【最新値】 男性26.6%、女性16.4%(H24)</p> <p>【目標値】 男性26.6%、女性17.8% (H34 10%減少)</p> <p>○糖尿病有病者の割合(市町村国保特定健診者50歳代)</p> <p>【基準値】 男性9.6% 女性3.8%(H22)</p> <p>【最新値】 男性8.7% 女性3.1%(H24)</p> <p>【目標値】 H34 現状維持</p>	<p>○市町村で(県調整交付金で支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> <u>糖尿病等治療勧奨推進事業の実施</u> (糖尿病患者等が直ちに医療機関を受診するよう、市町村から受診勧奨カードを送付。) <u>糖尿病等起因歯周病対策事業の実施</u> (特定健診の結果に基づき、集団での歯科医師・歯科衛生士による口腔内審査と歯科保健指導の実施) <p>○慢性腎臓病(CKD)予防対策事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <u>住民への講演会の実施</u> 協会けんぽとの連携会議 	<p>○糖尿病等治療勧奨推進事業実施市町村 <11市町村> 糖尿病等起因歯周病対策事業実施市町村 <3市町(御所市・宇陀市・平群町)> <u>重症化予防の取組行う実施市町村が少ない。</u></p> <p>○慢性腎臓病予防対策連絡会議の開催 CKD講演会を6市町村で実施 <u>市町村により取組の格差がある。</u></p>	<p>生活習慣病重症化予防対策事業(470千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村の糖尿病や腎臓病等の重症化を予防する取組を推進 <u>慢性腎臓病の啓発のための住民への講演会の実施</u>(保健所・市町村・全国健康保険協会等が連携し実施)

分野	主な指標の推移および目標値	25年度の取り組み (二重線印は主となる取組)	25年度の事業の成果と課題 (太線印は課題、二重線印は成果)	26年度の主な取組 (二重線印は重点的な取組み)
がん (がん検診受診率向上・ 知識普及と意識啓発)	<p>○75歳未満のがん年齢調整死亡率 【基準値】 80.0人(H23) 【目標値】 70.0人(H29)</p> <p>○がん検診受診率(国民生活基礎調査) 【基準値】 胃がん 29.3%(40~69歳) 肺がん 20.2%(40~69歳) 大腸がん 24.7%(40~69歳) 子宮がん 35.7%(20~69歳) 乳がん 35.7%(40~69歳) (H22年) 【目標値】 50%(H29)</p>	<p>○<u>がん検診個別受診勧奨・再勧奨モデル事業</u>実施(生駒市、葛城市)</p> <p>○<u>がん予防推進員養成講座</u>の開催(王寺町)</p> <p>○<u>がん検診受診率向上に向けてのモデル市町</u>(天理市、川西町、王寺町、五條市)への<u>個別介入</u></p> <p>○「<u>がん検診を受けよう!</u>」奈良県民会議 ・総会の開催 ・奈良県民会議のロゴマーク・キャッチフレーズ、各種啓発ツールの整備 ・奈良県民会議会員による街頭啓発</p> <p>○企業(がん検診応援団)と連携したがん検診受診の普及啓発</p>	<p>○個別受診勧奨・再勧奨モデル事業については年度内に効果検証を実施</p> <p>○がん予防推進員を59人養成し、<u>好評であった。</u></p> <p>○各モデル市町の現状、課題を把握し、今後の取組について検討を行っている。</p> <p>○活動方針と啓発ツールが整備され、<u>会員の活動内容が具体的にイメージできるようになった。</u></p> <p>○企業(がん検診応援団)とその他の会員が<u>情報共有できる機会ができた。</u></p> <p>○<u>奈良県民会議会員の取組の情報共有が必要</u></p>	<p>がん検診推進事業(5,400千円)</p> <p>○コール・リコール事業の成功事例を他市町村へ展開</p> <p>○「がん予防推進員」養成を県内4保健所で実施</p> <p>④健康寿命を延長する取組推進モデル事業(24,000千円)</p> <p>科学的根拠に基づく健康寿命延長に寄与する効果的な対策を市町村、県、専門家の協働により県内6市町村で展開(うちがん検診受診率向上4市町)する。</p> <p>「がん検診を受けよう!」奈良県民会議推進事業(予算:がん検診推進事業に含む)</p> <p>○10月10日の県民会議総会の開催 ・がん検診に関する知事表彰 ・がんの専門家による講演会等</p> <p>○県民会議会員による街頭啓発の実施</p> <p>○啓発ツール(ポスター・ちらし等)の更新 (参考資料3)</p>
歯・口腔の健康	<p>○歯科医師による定期的なチェック(1年に1回)を受けている人の割合(20歳以上)(基礎調査) 【基準値】 男性33.0%、女性39.6%(H23) 【最新値】 男性35.2%、女性44.3%(H25) 【目標値】 男性:50.0%、女性:50.0%(H34)</p> <p>○40歳で進行した歯周炎を有する人の割合(歯周疾患検診実績報告) 【基準値】 42.7%(H23) 【目標値】 30.0%(H34)</p>	<p>○県内歯科医療機関を対象とした、<u>歯科検診に関する実態調査</u></p> <p>○<u>産科医療機関への歯科衛生士派遣</u>(妊婦の歯科口腔保健指導)</p> <p>○糖尿病等起因歯周病対策事業の実施(御所市・平群町・宇陀市で実施で実施予定)(再掲)</p>	<p>○歯と口腔の健康づくり条例記念シンポジウムをなら100年会館で開催(6月2日)。</p> <p>○糖尿病等起因歯周病対策事業については、<u>実施市町村が少ない。</u></p> <p>○<u>歯科口腔保健に関する県民の関心を高め、市町村における取組を進めることが課題。</u></p>	<p>歯科保健推進事業(5,900千円)</p> <p>・県、市町村、歯科医師会担当者等により、県民に対する効果的な普及啓発方法について検討</p> <p>・歯科口腔保健に関する他職種情報交換会の開催</p> <p>健康増進普及推進事業(42,132千円)の一部</p> <p>・歯周疾患検診を実施する市町村に補助金を交付(市町村1/3・県2/3)</p> <p>糖尿病等起因歯周病対策事業実施市町村の拡大</p>
健康づくりがしやすいまちづくり	<p>○健康づくり地域活動参加者率(基礎調査) 【基準値】 15.9%(H24) 【最新値】 17.0%(H25) 【目標値】 17.5%(H34、10%増加)</p> <p>○健康づくり事業実施市町村数(県調べ) 【基準値】 4市町村(H24) 【目標値】 20市町村(H26半数以上の市町村)</p>	<p>○地域の健康まちづくり 誰もが気軽に「健康」をチェックでき、日常生活の中で健康になれる方法がわかる拠点「<u>健康ステーション</u>」を設置(1か所)。</p> <p>○人材開発 <u>健康ボランティア情報交換会</u>の開催</p>	<p>○イベントとして、~とおき健康話&最新機器で健康チェック~を開催(10/23参加者:約100名 測定会参加者:約300名)</p> <p>○健康ボランティア情報交換会 約90名 健康づくりの最新情報と他のボランティアとの情報交換会</p>	<p>健康ステーション設置促進事業(20,371千円)</p> <p>誰でも、気軽に、日常生活の中で健康づくりを開始、実践できる拠点「健康ステーション」の県内2カ所目を設置・促進 (参考資料4)</p>

分野	主な指標の推移および目標値	25年度の取り組み (二重線印は主となる取組)	25年度の事業の成果と課題 (太線印は課題、二重線印は成果)	26年度の主な取組 (二重線印は重点的な取組)
健康・ 休養・ こころの	<p>○睡眠による休養を十分にとれていない人の割合（県民調査） 【基準値】 男性 16.2%、女性 13.3% (H23) 【目標値】 男性 14.6%、女性 12.0%</p> <p>○7時間睡眠の人の割合(20歳～50歳) (県民調査) 【基準値】 29.0% (H24) 【目標値】 31.9%</p>	/	この分野の取組はできていない。	<p>「こころの健康と睡眠」セミナーの開催 講師：大西徳信氏（天理市立メディカルセンター） 開催時期：平成26年秋頃 対象：市町村保健部門職員、事業所責任者・衛生管理者等</p>
介護予防	<p>○介護予防事業実施市町村数 (参加者割合が全国平均以上) 【基準値】一次予防事業 12市町村 (H24) 二次予防事業 17市町村 (H24) 【目標値】 増加 (H34)</p>	<p>○<u>介護予防市町村担当者研修会の開催</u></p> <p>○<u>介護予防実務者研修会の開催</u> 介護予防担当者の資質向上を図るため研修会を開催</p> <p>○県と後期高齢者医療広域連合による実行委員会で歯科口腔・運動・栄養等について保健巡回指導を実施 H25年度(H26.2末) 116回実施</p>	<p>○最新の研究成果に基づく介護予防の情報を提供。</p> <p>○介護予防について市町村の取組に格差がある。</p>	<p>介護予防市町村支援事業 (644千円) 市町村、包括支援センター等の担当者に対して「介護予防」の取組の意識付けを行うとともに、効果的に実践できるような研修会を実施</p> <p>県と後期高齢者医療広域連合による実行委員会で歯科口腔・運動・栄養等について保健巡回指導を実施 (10,000千円) (参考資料 5)</p>

* 基礎調査：なら健康長寿基礎調査
県民調査：県民健康・栄養調査